

ひょうご経済・雇用戦略（2023～2027）概要

R4.12.22 兵庫県 産業労働部

はじめに	3
第1章 兵庫経済を取り巻く状況	4
第2章 今後の基本方向	
I 兵庫の目指す姿	5
II 戦略全体の基調と3つの方向性	6
III 9の重点プロジェクトと施策展開	8

戦略の位置づけ

【県政の羅針盤】

ひょうご
ビジョン
2050

2050年に、誰もが希望を持って生きられる一人ひとりの可能性が広がる「躍動する兵庫」となることを目指すもの

経済関係の実行プログラム
(計画期間:2023~2027年度)

【経済・雇用分野の取組方針】 ※本戦略

ひょうご経済・雇用戦略

【交流分野の取組方針】

ひょうご新観光戦略

戦略の推進体制

- 県民、企業・事業者、大学・研究機関、地域金融機関、産業雇用団体・支援機関、国・市町の各主体と認識を共有
- 有識者で構成する「ひょうご経済・雇用戦略推進会議」等の各種会議や意見交換などを通じて戦略を推進

戦略の実行・評価・改善

- 戦略ごとに重要目標達成指標となるKGI、それを達成するための中間目標となるKPIを設定
- 当該指標をもとに、定期的なPDCAサイクルにより、戦略の実効性を高めていく

第1章 兵庫経済を取り巻く状況

○人口減少社会

- ・本県は本格的な人口減少社会に突入
- ・2050年には2015年比で130万人（24%）減少する見込み
- ・本県の生産年齢人口（15～64歳）は2000年頃から減少傾向
- ・現在の趨勢が続いた場合、2050年には約200万人まで減少

【兵庫県の総人口及び65歳以上人口比率の推移】



○県経済の規模と地位

- ・県内総生産等の主要経済指標の全国順位は7位前後の地位
- ・経済のサービス化が進むものの製造品出荷額は全国5位水準

○企業立地件数の推移

- ・本県の企業立地件数は全国的に見ても上位だが、分譲可能な用地面積が大幅に減少していることもあり、2018年以降伸び悩み

○地場産業の変遷

- ・県内地場産業の生産金額はピーク時と比較すると大幅に減少

○商店街の変遷

- ・2006～2018年の間で、県内の商店街、小売市場団体数は約2割減少

○深刻化する人手不足

- ・本県の幅広い職種で求人超過の状況
- ・特に製造業は県内企業の43.9%が従業員不足(2021年)

○若年層の意識変化、転出超過

- ・本県の20歳代は長期的に転出超過傾向にあり、その理由は就職が最も多い（県内企業就職率は3割弱）
- ・学生は職業選択時に成長できる環境や社会貢献を重視する傾向
- ・県内の理工系学部生の割合は6.6%と全国平均（17.6%）と比べて11ポイント低いなど、理工系人材が不足（2020年）

○新しい働き方の浸透

- ・緊急事態宣言が解除された2021年10月時点において、県内企業の24.5%がテレワークを実施

○SDGsの広がり

- ・県内企業の約半数がSDGsが今後重要となると認識しつつも、取組が順調な企業は全体の1割程度

○デジタル活用による事業変革

- ・県内企業のおよそ半数はDXの重要性が高まっていると考えているが、取組が進んでいるのは2割程度

○2025大阪・関西万博

- ・国内外から約2,820万人の来場が想定され、兵庫に人・モノ・投資を呼び込む絶好の機会となることが期待
- ・地域のSDGsを体現できる体験の場として、ひょうごフィールドパビリオンを展開し、世界中の人々に兵庫の魅力を発信

○神戸空港の国際化

- ・神戸空港において、2025年には国際チャーター便、2030年前後には国際線の定期便が就航される予定

兵庫県の目指す姿
(ひょうごビジョン2050)

2050年の
兵庫の姿

誰もが希望を持って生きられる
一人ひとりの可能性が広がる
『躍動する兵庫』

包摂

×

挑戦

躍動

経済・雇用分野
での目指す姿

社会課題を見だし、
解決に取り組んでいく
新たな挑戦の創出

強みを活かし、持続可
能な未来を見据えた次
世代・成長産業の育成

持続可能性と収益性を
両立する自立した経済
を実現できる産業構造
の確立

多様性を受入れ、生き
生きと仕事ができる働
きたい兵庫の実現

5つのめざす社会

I 自分らしく生きられる社会

- ★ ① 自由になる働き方
- ② 居場所のある社会
- ★ ③ 世界へ広がる交流

II 新しいことに挑戦できる社会

- ④ みんなが学び続ける社会
- ◆ ⑤ わきあがる挑戦
- ⑥ わきたつ文化

III 誰も取り残されない社会

- ★ ⑦ みんなが生きやすい地域
- ⑧ 安心して子育てできる社会
- ⑨ 安心して長生きできる社会

IV 自立した経済が息づく社会

- ⑩ 循環する地域経済
- ⑪ 進化する御食国
- ⑫ 活動を支える確かな基盤

V 生命の持続を先導する社会

- ◆ ⑬ カーボンニュートラルな暮らし
- ★ ⑭ 分散して豊かに暮らす
- ◆ ⑮ 社会課題の解決に貢献する産業

I 基本戦略

【経済・雇用分野の目指す姿（基本戦略）】

持続可能な地域経済の 確立と雇用の安定

コロナ禍によって浮き彫りとなった社会課題に対応し、人口減少社会においても豊かな生活を維持するため、自立した地域経済の仕組みづくりと雇用の安定に計画的に取り組んでいく

II 戦略全体の基調・3つの方向性

【戦略全体の基調】

SDGsの推進



- SDGsの理念のもと、県民や企業・事業者等とともに、持続可能性と収益性を両立した地域経済の確立と多様な人材が活躍する安定的な雇用に向けた取組を推進

【基本戦略実現のための3つの方向性】

兵庫を牽引する新たな産業の創出

- 社会課題を見いだし、解決に取り組んでいく新たな挑戦の創出～チャレンジ先進県HYOGOの実現～
- 兵庫県の強みを活かし、持続可能な未来を見据えた次世代・成長産業への支援

中小企業の経営基盤の強化・持続的な発展

- 持続可能性と収益性を両立する自立した経済に向けた中小企業の経営基盤強化

地域経済を支える人材の育成・確保

- 多様性を受入れ、生き生きと仕事ができる働きたい兵庫を目指す取組推進

戦略の全体像

【基本戦略】

持続可能な地域経済の確立と雇用の安定

【戦略全体の基調】

SDGsの推進



【方向性①】

兵庫を牽引する新たな産業の創出

社会課題の解決に挑戦する企業の創出、先端科学技術などが支える次世代・成長産業の育成

①成長産業の育成

②スタートアップエコシステムの形成

③科学技術基盤を活用した技術革新支援

【方向性②】

中小企業の経営基盤の強化・持続的な発展

持続可能性と収益性を両立した循環経済を実現する中小企業の経営基盤強化

④DX等による生産性の向上

⑤経営の持続性向上

⑥地場産業の競争力強化

【方向性③】




地域経済を支える人材の育成・確保




持続的成長の源泉となる人材への投資促進
多様な人材が働きやすい環境の整備




⑦人への投資の推進

⑧多様な人材の確保

⑨誰もが生き生きと働ける環境づくり

重点プロジェクト	個別戦略	取組の方向性
 <p>成長産業の育成</p>	<p>①成長産業の競争力強化 【成長産業4分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素等新エネルギー（蓄電池含む）、環境 ・航空産業、ドローン、空飛ぶクルマ ・ロボット産業 ・健康医療産業 <p>②産業立地条例による戦略的な投資促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内製造業の成長産業への参入促進と競争力強化（成長産業全般） ・県内企業の水素社会への気運醸成（水素等新エネルギー（蓄電池含む）、環境） ・ドローンの社会実装促進（航空産業、ドローン、空飛ぶクルマ） ・空飛ぶクルマの離着陸場の整備（航空産業、ドローン、空飛ぶクルマ） ・産業立地条例により成長産業の誘致を促進 ・ベイエリアへの投資の促進
 <p>スタートアップエコシステムの形成</p>	<p>①スタートアップ支援拠点の強化</p> <p>②オープンイノベーションの推進</p> <p>③起業家の再チャレンジを支援</p> <p>④若者や女性の起業支援</p> <p>⑤スタートアップによる地域課題解決の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者の育成や拠点間の連携も含めたスタートアップ支援拠点の充実強化 ・コワーキングスペースの拡充による企業間交流の促進 ・国内外のスタートアップ支援を行うグローバル拠点を構築 ・既存企業とスタートアップのマッチングによるオープンイノベーションの推進 ・再チャレンジを目指す起業家に対する活動支援を展開 ・スタートアップ甲子園など、若者の起業家精神を醸成する事業等を展開 ・新たなビジネス創出に意欲的に取り組む若者や女性を支援 ・スタートアップと地域課題解決をマッチングするひょうごTECHイノベーションプロジェクトの推進 ・地域住民による地域課題解決を支援
 <p>科学技術基盤を活用した技術革新支援</p>	<p>①科学技術基盤の産業利用推進</p> <p>②先端技術人材の集積と育成支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SPring-8、SACLA、スーパーコンピュータ「富岳」の産業利用を推進 ・次世代電池、半導体の技術開発促進 ・県内産業の高度化に資する学術研究への助成 ・先端技術人材の育成や県内集積を促進

重点プロジェクト	個別戦略	取組の方向性
 DX等による生産性の向上	① 中小企業のDX導入促進	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業のDX推進に係る意識啓発や知識補完 ・製造現場でのAI・IoT・ロボットの普及
	② 中小企業の人材育成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業や求職者に対するリスクリングの支援 ・県内企業が取り組むデジタル推進人材育成の支援
 経営の持続性向上	① SDGsの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業のSDGsへの取組の重要性を周知 ・SDGsへの取組の認証制度等により、県内企業の取組を支援
	② 新事業展開の支援と事業承継の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した円滑な事業承継、M&Aの推進 ・若手後継者の事業承継や新事業創出を支援
	③ 金融機関と連携した経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関や信用保証協会と連携し、中小企業等の資金繰りの円滑化を図るとともに、経営改善の伴走型支援を展開
	④ ものづくり産業の競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり産業の技術革新を促進 ・ものづくり産業への女子学生の就業促進 ・ものづくり産業の理工系人材の獲得支援
	⑤ 海外展開支援と外国・外資系企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の国際的な事業展開を支援 ・外国・外資系企業立地を促進 ・アジア諸国との経済交流の促進
	⑥ 危機管理への対応と事業継続支援	<ul style="list-style-type: none"> ・サイバー攻撃等の様々な危機にも対応したBCP策定支援を展開 ・コスト上昇局面において、県内企業が価格転嫁しやすい環境を整備
	⑦ 商店街の集客力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街への魅力的な店舗誘致や個店の魅力強化を支援 ・新たな顧客層が訪れる仕組みづくりを支援
	⑧ 魅力ある県内企業の顕彰	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な県内企業の顕彰を推進
 地場産業の競争力強化	① 地場産業のブランド価値向上と販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの視点を取り入れた新製品開発や販路拡大、海外展開の支援 ・2025大阪・関西万博でのフィールドパビリオンと連携したブランド価値と認知度の向上

重点プロジェクト	個別戦略	取組の方向性
<p>人への投資の推進</p> 	<p>① 中小企業の人材育成支援（再掲）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業や求職者に対するリスキリングの支援 ・県内企業が取り組むデジタル推進人材育成の支援
<p>多様な人材の確保</p> 	<p>① ダイバーシティ&インクルージョンの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性と県内企業のマッチングや女性活躍推進企業（ミモザ企業）の認定を促進 ・外国人留学生と県内企業のマッチング促進 ・高齢者の就労ニーズに合わせたマッチング支援 ・県内企業の障害者雇用に関する理解促進
	<p>② 大学生と県内企業のマッチング促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学生と県内企業の早期マッチングを推進 ・ものづくり産業の理工系人材の獲得支援（再掲） ・ものづくり産業への女子学生の就業促進（再掲）
	<p>③ 若年層をターゲットとしたUJIターンの促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の大学と連携した県外大学生のUJIターンの促進 ・ものづくり産業の理工系人材の獲得支援（再掲） ・ものづくり産業への女子学生の就業促進（再掲） ・新たなビジネス創出に意欲的に取り組む若者や女性を支援（再掲）
<p>誰もが生き生きと働ける環境づくり</p> 	<p>① 誰もが働きやすい労働環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業が取り組む女性、外国人、高齢者、障害者が働きやすい職場づくりへの支援
	<p>② 新しい働き方の推進とワーク・ライフ・バランスの実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク、ワーケーションなどによる取組支援の充実・強化 ・ワーク・ライフ・バランス取組企業の量的拡大と質的向上